

平成31年1月4日

羽生市議会議長 斉藤 隆 様

羽生市議会 薫風会 奥沢 和明

印

## 行政視察報告書

行政視察を下記の通り実施したので報告いたします。

### 1:背景

市内の課題を解決するため、羽生市と他の自治体の政策を比較・検討し、羽生市の抱える課題に新たな視点から取り組む必要がある。

### 2:目的

先進的な政策を実行している自治体から学びを得て、市民福祉の増進に寄与する。

### 3:視察参加者

薫風会メンバー:奥沢議員 松本議員 永沼議員 根岸議員 峯寄議員 丑久保議員

### 4:視察概要

1)日時:2018年10月10日(水)~11日(木)

2)場所:群馬県高崎市 新潟県長岡市

### 3)視察内容

#### ■群馬県高崎市「絶メシリストについて」

高齢化や後継者不足などで閉店する店が後御絶たない現状の中、地域住民に愛され続けている飲食店にスポットを当て、その魅力をインターネットやSNSを活用して、首都圏在住者や高崎市への訪問者、また、世界に向けて発信する市民応援型のプロモーション事業。

#### ・広告効果

PR戦略の広告効果は14億円を超え、高崎市史上最大のPR効果を達成。

「絶メシリスト」のインターネットサイトは公開から170万PV(月/約20万PV)を達成。

掲載店の売り上げが平均20%増加。

#### ■第80回全国都市問題会議「市民協働による公共の拠点づくり」

かつての共同体における住民同士の協力は、人々が住む地区という固定的な場において行われ

てきた。しかし、市民がほかの市民や行政と自発的に結びつき、繋がろうとするのであれば、それにふさわしい場の在り方が必要なのである。ここでは、そうした市民協働を実践する場を「公共の拠点」と呼ぶ。公共の拠点は、公共施設や民間施設という従来の概念を越え、市民の創意工夫によって育まれる、地域社会の活動の場である。

第 80 回全国都市問題会議の開催都市である長岡市は、今年開府 400 年の節目を迎えた、いわば「市民協働」の先駆けともいえる精神が根付いている土地である。長岡藩の頃から、領主と領民が一体となって（「士民協働」によって）藩を盛り立ててきた。身分制度が厳しい江戸時代の社会の中で、侍と庶民が長岡城内で一緒に祭りを楽しんでいた。

自治体が一方的に公共の拠点を整備するだけでは、市民の多様なニーズに応えることが出来ず、市民活動や協働の充実に繋がらない。公共の拠点づくり自体、市民と行政との協働により進めていく必要がある。今回の会議では、市民協働による公共の拠点づくりについて、各地の事例を紹介しながら考察し、議論したい。

・基調講演

「地方分権へのまなざし」 東京大学史料編纂所教授 本郷和人

・主報告

「長岡市の市民協働」 新潟県長岡市長 磯田達伸

・一般報告

「市民との対話と連携で進める津市の公共施設マネジメント」 三重県津市長 前葉泰幸

「場所の時代」 東京大学教授 隈研吾

・パネルディスカッション

「市民協働による公共の拠点づくり」

明治大学政治経済学部地域行政学科長・教授 牛山久仁彦

「シビックプライド醸成のコミュニケーションポイントから考える「拠点」」

東京理科大学工学部建築学科教授 伊藤香織

「子育て支援から見た公共の拠点づくり」

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長 奥山千鶴子

「長岡の市民主体のまちづくり」

長岡市国際交流センター「地球広場」センター長 羽賀友信

「地域包括ケアを支える新たな拠点づくり-NPOとの連携-」

埼玉県和光市長 松本武洋

「人・モノ・金の好循環を目指して」

高知県須崎市市長 楠瀬耕作

## 5: 議員所見

### ①奥沢議員

「市民協働による公共の拠点づくり」を視察し、行政と市民との連携について改めて、考えさせられました。

### ②松本議員

様々な絆が希薄になっている今、どのようにすれば「協働」が実現できるのかのヒントを得ました。

### ③永沼議員

「絶メシリスト」に関して、羽生にも、旨いけど後継者が居ないので廃業している店舗が見受けられます。「絶メシ」をうまく使ったキャンペーンなりできないか、と思いました。

### ④峯寄議員

「絶メシリスト」を視察し、羽生市にも後継者のいない飲食店が多数あるので、何か活性化に活かせないものか考えさせられました。12月議会で一般質問します。

### ⑤根岸議員

全国の自治体から集まる都市問題会議に参加して、同じように悩む課題を共有できました。羽生市にもこの学びを活かしてまいります。

### ⑥丑久保議員

都市問題会議のスケールメリットを各種報告から感じました。やはり全国どこでも抱える課題は似ています。素晴らしい講師による講演を聞き、多くの気づきをいただきました。